



報道発表資料の配信日時 11月14日(月) 11時00分

発表項目 (行事名)	「胆振地域ものづくり企業のための技術・研究シーズ発表交流会」 の参加事業者募集について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>胆振管内のものづくり企業の開発力・生産技術力の向上を図るため、室蘭工業大学と道総研工業試験場の技術・研究シーズを紹介する「交流会」を次のとおり開催することとし、参加事業者を募集しますのでお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催日時 12月5日(月) 13:15～16:30 ○会場 苫小牧市テクノセンター2F会議室 オンライン (Zoom) 併用 ○募集対象 胆振管内に本社、事業所を有する製造業事業者等 ○参加費 無料 ○申込期限・申込先 11月30日(水) 苫小牧市テクノセンター TEL 0144-51-0210 <p>※プログラム等詳細は、別添のとおり</p>		
参考			
報道(取材) に当たって のお願い	・幅広く地域の製造企業等に周知を図りたく、報道をお願いいたします。		
他のクラブ との関係	同時配付	同時レク	(場所)
担当 (連絡先)	胆振総合振興局産業振興部商工労働観光課 課長 山田 TEL 0143-24-9512 内線 2400 担当 三浦 TEL 0143-24-9590 内線 2432		

胆振管内のものづくり企業の開発力・生産技術力の向上を図るため、室蘭工業大学と道総研工業試験場の技術・研究シーズを紹介する「交流会」を下記の日程で開催いたします。

何かとお忙しい時節とは存じますが、ご都合お繰り合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時： 令和4年12月5日（月） 13：15～16：30

● **会場** 苫小牧市テクノセンター 2F会議室、オンライン配信（Zoom）併用
苫小牧市柏原32-27 Tel 0144-57-0210

● **参加費** **無料**（参加定員 会場40名、オンライン50名）

※参集範囲：胆振管内に本社・事業所を有する製造業事業者等

● **プログラム**

① **技術・研究シーズ発表**

切削加工における機上計測・モニタリングとデジタルツイン

室蘭工業大学 もの創造系領域 ロボティクスユニット 教授 寺本 孝司

*高精度で信頼性の高い切削加工を実現するために、加工結果の機上計測や加工プロセスモニタリングが注目されています。機上計測とモニタリングの現状と期待される応用について紹介するとともに、Connected Manufacturingの基盤技術として注目されているデジタルツインにおける計測情報の利用について紹介します。

13:20～13:55 (35分)

3Dデータ活用の最新事例

～リバーズエンジニアリングとXR～

道総研 ものづくり支援センター 主査 安田 星季

*3Dデータは、製品設計のほかにも様々な用途で活用が進んでいます。本発表では、①工業試験場が保有する3Dスキャン機器とその他の3Dスキャン技術、②工業試験場が支援したリバーズエンジニアリング事例、③XR（AR、VRなどの総称）での3Dデータ活用技術について紹介します。

13:55～14:30 (35分)

(休憩)

14:30～14:35 (5分)

聴き間違いはなぜ起こるのか？

～言っただけでは聴こえていない～

室蘭工業大学 しくみ解明系領域 知能情報学ユニット 助教 小林 洋介

*音声対話は人と人との基本的な communication の一つですが、何歳になっても dis-communication がおきます。本発表では発話内容が「どの程度相手に届く」のかを音声・聴覚情報処理的見地から定量的に説明することで、ヒューマンエラーの要因となり得る「言っただけ」の指示ミスが発生要因について深掘りします。

14:35～15:10 (35分)

安全作業のためのヒューマンエラー低減策

～工業試験場での取組紹介～

道総研 ものづくり支援センター 主査 神生 直敏

*「ヒューマンエラー(人為的ミス・ポカミス)」が思わぬ事故・災害に繋がることがあります。人間の特性上、エラーを完全に無くせなくても、対策でその発生を減らす事は可能です。今回は、いくつかのヒューマンエラーを体感してもらいつつ、低減させるヒントになるような、工業試験場での研修・研究事業の内容を紹介します。

15:10～15:45 (35分)

② **活用事例紹介**

CTプラットフォーム連携の構成装置を用いた撮影事例の紹介

苫小牧市テクノセンター 技師 森本 准哉

*令和2年、室蘭工業大学と苫小牧市テクノセンターが創設した「CTプラットフォーム」では、双方が保有するX線CT装置の利用を組織横断的に連携し、企業支援や研究支援を効果的に進めています。本発表ではその概要を紹介し構成装置の特徴を活かした撮影の事例とリバーズエンジニアリングを試みた事例を示します。

15:45～16:10 (25分)

③ **意見交換会**

16:10～16:30 (20分)

◎お申込みはFAXまたはメールで

参加申込書 (送り状不要)

FAX 0144-57-1122

Eメール: tomatech@tomatech.jp

胆振地域 ものづくり企業のための技術・研究シーズ発表交流会
参加申込書 **申込期限 11月30日(水)**

会社名			
会社住所	〒(-)		
申込代表者	所属・役職	ふりがな氏名	
申込代表者 連絡先	TEL:		FAX:
	E-mail:		
申込者氏名	所属・役職	ふりがな氏名	参加方法*(○を記入)
(申込者が2名以上の時はコピーしてください)			会場 / オンライン
			会場 / オンライン

※ ZOOM のリンクアドレスは申込代表者様宛にメールにてお送りいたします。



新型コロナウイルス感染防止対策を実施中です。ご参加される皆様は以下のことをお守りください。

- ・体調の悪い方は来場をお控えください。
- ・会場内ではマスクを着用してください。
- ・受付では手指消毒をお願いします。



テクノセンター地図情報 QRコード

お問合せ先

苫小牧市柏原 32-27 苫小牧市テクノセンター (担当: 鴨田、高橋)
TEL: 0144-57-0210 E-Mail: tomatech@tomatech.jp

主催 苫小牧市、室蘭工業大学、北海道立総合研究機構工業試験場、北海道胆振総合振興局
共催 (一社) 北海道機械工業会
後援 室蘭市、(一社) 北海道バイオ工業会、(公財) 室蘭テクノセンター、(公財) 道央産業振興財団